

町内会の資源回収量を増やすにはどうしたらよいか？

資源集団回収で自治会・町内会の皆さんから出される古紙の量が年々、減少を続けています。その理由は、主に新聞や雑誌の流通が減少しているためと言われています。その一方で、「燃やすごみ」として出される古紙が少なくないことも事実です。横浜市が行っている「燃やすごみ」にどのようなものが含まれるかを調べる組成調査では、毎年、約10%も再生可能な古紙が「燃やすごみ」として出されているという結果が出ています。

皆さんが資源物として出す古紙は、さまざまな再生品に生まれ変わって活用されています。リサイクル組合が販売している再生品もそのひとつです。再生品を作るには、もっとたくさんの資源物の回収量が必要なのです。

ポストに入っていたチラシや食品類を包装していた小箱、メモ用紙やレシートなどのちょっとした紙類をごみ箱に捨てる時には、本当に「燃やすごみ」なのか、リサイクルできる紙なのか、もう一度確認してみてください。



「燃やすごみ」に含まれていた「古紙」



「その他の紙」を表示して分別を促す町内会の活動例
(青葉区美しが丘西保木自治会)

古紙に入れてはいけない「禁忌品」

- 油や汚物で汚れた紙
- 捺染紙
- 圧着はがき
- 紙コップ
- 洗剤容器
- 絵の具等で色を塗った紙
- 感熱紙
- 写真、感光紙 など

「燃やすごみ」に多く含まれているリサイクルできる古紙の例



菓子の空き箱



ティッシュの箱



メモ帳



ポスティングチラシ



封筒



包装紙

横浜市の資源物から生まれた リサイクル組合の再生品の特長

リサイクル組合では、皆さんが資源集団回収で出した古紙をリサイクルして再生品を作っています。技術力の高い日本国内で生産しており、品質にはまったく問題はありません。割高に感じることもあるかもしれませんが、再生品ならではのよいところもあります。資源循環の意義を理解したうえで、ぜひご活用をお願いいたします。

皆さんの分別の努力が 大切な資源として生かされている

資源物のリサイクルには正しい分別が何よりも大切です。例えば、古紙は「新聞紙」「雑誌」「段ボール」「紙パック」「その他の紙」に分別していますが、それぞれ別のものに再生されるため、あらかじめきちんとした分別が欠かせないのです(右図)。

段ボールや新聞紙、雑誌を分別せずに回収に出してしまうと、リサイクル工場ではそれらを細かく分別できずに、「燃やすごみ」として処理することもあります。

きちんと分別することで、貴重な資源として再生品に生まれ変わり、皆さんのお手元に戻ってくるのです。



再生品を使うことで資源循環が続いていく

皆さんが分別した資源から生まれた再生品が皆さんの手で使われることで、初めて資源循環の輪が完成します。

国内で使用されている紙のうち、約8割は回収されます。その一方で古紙の使用率、つまり回収されたものの、国内で資源として使用されている古紙は、回収されたうちの6割程度、残りは海外へ輸出されます。農業において地産地消があるように、国内で回収された資源についても再生品として国内で積極的に使用し、古紙の使用率を上げることは、分別された資源の有効な使い方ではないでしょうか。

再生品はテレビなどで大規模に広告されることが少ないので、品質がよくないなどの誤解をされることがあります。しかし、技術が優れた日本で生産された製品は、品質がしっかりしているので安心してお使いいただけます。

リサイクル組合が販売しているトイレットペーパーやボックスティッシュなどの再生品も、高品質を保ったまま、割安になっています。



再生紙 100%トレペの拡大写真。
穴、シミ等無く、キメが細かいことがわかります。



手に取った様子。
ゴウゴウしておらず
ふんわり使えます。



隙間無く、きちんと
巻かれております。



芯なしでも一般的なホル
ダーで使用方法が可能です。

●りくみのトレペ

芯なしでゴミが出ません
長持ちする 130mシングル



1ケース
(8パック・48ロール) **3,800円**

再生品を選ぶポイント

スーパーやドラッグストアなどで販売されるセール品は、割安な値段になっていますが、仕様などをもう少し詳しく見ると再生品も意外にお得感があります。

■トイレットペーパーの比較

	りくみのトレペ	A社	B社
仕様	シングル	シングル	シングル
長さ (m)	130	50	100
幅 (mm)	114	106	110
坪量 (g/m ²)	19.6	19.6	18.4
原料	再生紙 100%	再生紙+パルプ	パルプ 100%
1 パック入数 (ロール)	6	12	6
パック述べm数 (m)	780	600	600
1 mあたりの単価 (円)	¥0.45	¥0.72	¥0.54

※坪量 (1㎡あたりの紙の重さ。重いほど厚みがある)

例えばりくみのトレペは、既製品よりも長く、1mあたりの単価は割安になります。しかもサイズは同じなので省スペースであり、防災時の備蓄品としても最適です。

また、原料を見てみると、再生紙だけでなく、パルプと混ぜているもの、または、パルプ100%というものもあります。パルプとは木材等から得た、真新しい原料のことです。分別した資源を有効に使うには、やはり再生紙を用いたものを使用したいですね。

購入された方から使い道を伺うと、個人の使用だけでなく、自治会のイベントやPTA活動等の参加者への配布に使われることもあるようです。例えば、資源回収による奨励金の使い道として、古紙を出していただいた住民一人ひとりへの還元という意味で、配布を行いたいということも伺いました。

資源循環が進んだ社会にするには、「環境に負荷が少ないものを消費者が選んで使用」ということが大きなポイントとなります。

その他のリサイクル組合の再生品

●りくみのティッシュ

やわらかな使い心地
長持ちする200組
1ケース
(10パック・50箱)
4,350円



●シングルセット

再生品を試して見たい方にはこちら！

りくみのトレペ4パック(24ロール)
りくみのティッシュ3パック(15箱)
小結くんおためし巻き1巻(30m)
1セット 3,500円



●小結くん(紙ひも)

紙ひもを使って古紙を束ねれば、丸ごと紙としてリサイクルできます！

バラ売り1巻(90m) 240円
箱売り1巻(50巻) 11,400円



●再生PPC用紙

1ケース
(1包500枚入り・5包)
※A3のみ3包
B51ケース 1,900円
A41ケース 2,565円
B41ケース 3,803円
A31ケース 3,027円



●ご注文・お問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局

TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp



備蓄品として自治会の倉庫で保管

横浜リユースびんプロジェクトが第19回グリーン購入大賞を受賞

横浜市資源リサイクル事業協同組合が実施しているリユースびんを使用した地産地消・地域活性とCO₂削減につながる取り組みが、第19回グリーン購入大賞を受賞いたしました。

2018年12月7日(金)に表彰式が行われ、2019年2月1日(金)には、林文子市長のもとに受賞の報告に伺いました。

グリーン購入ネットワークとは
環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを優先して購入する「グリーン購入」について必要な情報の収集・提供、ガイドラインづくり、普及啓発などを行う団体です。

グリーン購入大賞とは
グリーン購入ネットワークが実施する、環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体への表彰制度です。



イオン(株)様等受賞企業と共に
表彰式へ出席



左から、宗村理事長、林市長、
寺西プロジェクトリーダー

シンポジウム「環境配慮型行動で創るSDGs未来都市」が開催

環境配慮型行動で創る
SDGs未来都市

2019年2月21日(木)、横浜市資源リサイクル事業協同組合が主催するシンポジウム、「環境配慮型行動で創る SDGs未来都市」を開催しました。定員(120名)を大きく上回る応募をいただき、当日は企業・団体・市民・行政の様々な方に参加していただきました。

横浜で事業を行う企業として、市民に対してどのように情報を発信しているのか。また、企業そのものの環境配慮行動だけではなく、市民が環境配慮を意識した行動を起こす

にはどうしたらよいのかについて、先進事例を紹介しながら「消費者市民社会」へ向かうための情報発信の場として本イベントを開催しました。

横浜市資源リサイクル事業協同組合においても、SDGsを取り入れた事業例として、リユースびんプロジェクトの取り組みを紹介し、廃棄物の削減や地産地消に配慮した商品を選ぶという消費者の行動が持続可能な社会につながることを伝えました。



シンポジウムの様子

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。



リサイクルデザインの発行予定

2019年夏号：6月25日

2019年秋号：9月25日

2019年冬号：12月25日

2020年春号：3月25日

リニューアルのご挨拶

日頃より『Rd (リサイクルデザイン)』をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。

1994年の創刊当時より、横浜市民の皆様へ、リサイクルの仕組みを知ってもらい、毎日の生活にかかせない3R(リデュース・リユース・リサイクル)の考え方を広めることを目的として発信しております弊社について、より皆様にとってお役立ていただけるよう検討を重ね、この度、誌面をリニューアルさせていただきました。

毎号表紙では“分別”をテーマに取り上げ、読みやす

くなるように内容を整理することで、自治会・町内会の回覧に回ってきた際にも、“手軽に分別の知識を取り入れていただきたい”ということが、リニューアルの狙いのひとつとなります。

今後も皆様にとって魅力ある誌面づくりを進めてまいりますので、引き続きのご愛読、ご支援をいただければ幸いに存じます。



横浜市資源リサイクル事業協同組合
広報企画委員会